

JENESYS2020 日東ティモール・オンライン交流

（日本語コミュニケーション・日本文化（サブテーマ：ものづくり・食の安全））の記録

1. 概要

【目的】 東ティモールにおいて日本に興味関心を有する青年または日本語学習者が、日本についての知見を深めるとともに情報発信をすることで、両国の交流をより一層推進することを主目的に、本プログラムを実施しました。

【参加者】 東ティモールの高校生・大学生・大学院生・社会人 計 52 名

【訪問地】 東京都、大阪府、京都府

【日程】

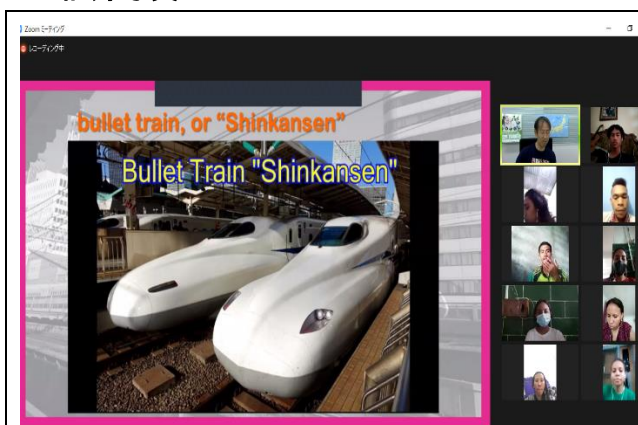
このプログラムは JENESYS 2021 日東ティモール外交関係開設 20 周年記念交流と合同で実施しました。

日付 訪問地	内容	参加者の質問・反応
以下の参加人数：36 名		
2021 年 11 月 22 日 東京都	【ウェビナー・質疑応答】 1. 開会挨拶 2. JENESYS 概要説明 3. 講義・スライド視聴 「Explore Japan」 講師：千葉大学 国際未来教育基幹教授 織田 雄一氏 4. 質疑応答 5. 集合写真撮影 6. 閉会	日本政府の新型コロナウイルス感染症対策、ワクチン方針、生産人口減少と高齢化、着物と浴衣の違い、最新テクノロジーではなく自然を楽しめる地方もあるのかどうか、大学の授業は何語で行われるのか、など幅広い質問がありました。講義中もチャットにリアクションやコメントがありました。
以下 7 日間の参加人数：16 名		
2022 年 2 月 2 日 ～	【動画視聴】 1. 外務省挨拶 2. 事前オリエンテーション 3. 日本理解講義 4. 日本文化理解（京都） 5. ホームビジット体験 6. 日本語学習	プログラムへの理解を深めるため、参加者は日本やプログラムに関する動画を視聴してから参加しました。

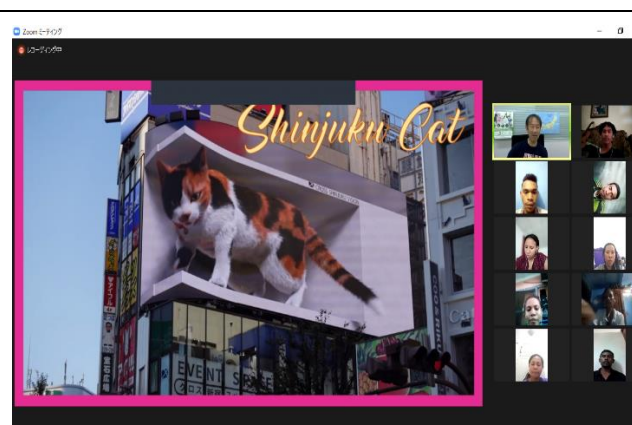
<p>2022年 2月9日 東京都</p>	<p>【オリエンテーション】【ウェビナー・質疑応答】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション（グループ別） 2. 日本語と日本文化レッスン 3. ウェビナー・質疑応答 「日本文化及びSNS発信講座」 講師：TOKYO インフルエンサーアカデミー 代表 中島 侑子氏 4. グループ別交流 	<p>「日本語と日本文化レッスン」では、講師の呼びかけに楽しそうに答えていました。 「日本文化及びSNS発信講座」では、行きたい場所、好きな日本食、興味ある場所など多くのコメントが寄せられました。グループ別交流では、「将来は奨学生として日本へ留学したい」「日本人の友達を作りたい」など本プログラムに期待を共有しました。</p>
<p>2022年 2月10日 大阪府</p>	<p>【ウェビナー、視察】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 講義 「関西・大阪の魅力紹介」 講師：公益財団法人大阪観光局留学生支援推進室 日高 ちひろ氏 2. 質疑応答 	<p>講師の問いかけに参加者は積極的に答えていました。講師の「関西で行きたい場所は」の問いかけに、「京都に行き、自国の伝統文化と比較したい」「大阪御堂筋のイルミネーションを家族と一緒に楽しみたい」「奈良で鹿に餌をあげたい」等、具体的な回答がありました。</p>
<p>2022年 2月11日 愛知県名古屋 名古屋市</p>	<p>【ウェビナー・質疑応答】講義</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 質疑応答 「名古屋の観光情報」 講師：名古屋市観光文化交流局観光交流部 大塚 勝樹氏 2. 記念撮影 	<p>講師が適宜資料の写真を大きく見せたり、クイズ形式の双方向のやりとりをしたりするなど工夫することで、参加者の主体的意欲が感じられた講義でした。質疑応答でも講師が丁寧で楽しく回答したりすることで、講師と参加者の双方向で活発なコミュニケーションがなされました。参加者から「名古屋市を一言で表現するとしたらなんですか」「教育制度は名古屋独自のものですか」「東京都と名古屋で言葉の違いはありますか」など多くの質問がありました。</p>
<p>2022年 2月12日</p>	<p>【学校交流】</p> <p>交流校：愛知県立南陽高等学校 10名</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学生代表挨拶 2. 日本の学生発表（学校紹介・茶道紹介・お点前披露） 3. 質疑応答 4. 東ティモール参加者発表（東ティモール全般） 5. 質疑応答 6. 記念撮影 	<p>南陽高校の学校紹介のプレゼンテーションでは、茶・華道部のお点前が素晴らしく、ライブ感溢れるプログラムでした。参加者から「何の儀式に由来するのか」「抹茶はどうやって作るのか」等の質問があり、着物姿の先生が各質問に丁寧に答えました。参加者からの発表では、日本の交流校から、「東ティモールで人気のある日本のものは何か」「高校生の間で話題のトピックな何か」等の質問が多く挙がり、時間が足りなくなるくらい双方向のコミュニケーション</p>

		が活発に行われました
2022年 2月14日 東京都	【ワークショップ】 1. プログラムの振り返り 2. アクション・プラン策定、発表準備	グループに分かれ、プログラム全体を通しての学びから、アクション・プランを策定し、報告会にむけて発表の準備を行いました。
2022年 2月15日 東京都	【報告会】 1. 参加者による発表 2. 講評	プログラム後3か月以内に実施するアクション・プランについて英語と日本語で発表しました。日本について幅広い対象に発信する独創的なプランがいくつも提案されました。

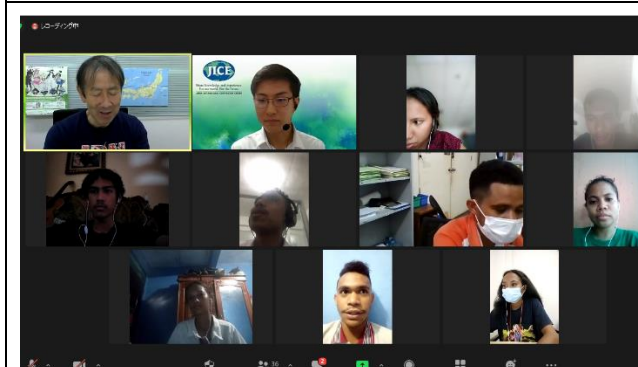
2. 記録写真



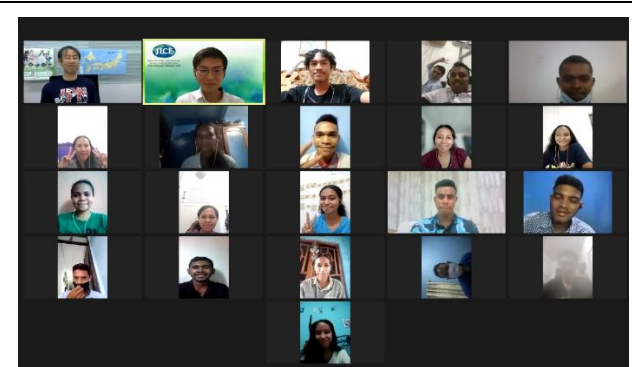
2021年11月22日【ウェビナー・質疑応答】講義中の様子



2021年11月22日【ウェビナー・質疑応答】講義中の様子



2021年11月22日【ウェビナー・質疑応答】質疑応答の様子



2021年11月22日【ウェビナー・質疑応答】集合写真撮影の様子

	
<p>2022年2月9日【オリエンテーション】日本語と日本文化レッスン：講師の後に続いて日本語を話す参加者</p>	<p>2022年2月9日【ウェビナー・質疑応答】日本文化及びSNS発信講座の講義の様子</p>
	
<p>2022年2月10日【視察】「関西・大阪の魅力紹介」講師のクイズ</p>	<p>2022年1月12日【学校交流】桜を背景に記念撮影</p>
	
<p>2022年2月15日【報告会】プレゼンテーションの様子</p>	<p>2022年2月15日【報告会】集合写真</p>

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 参加大学生

今回のような、ASEANの学生のための日本に関する講義は、ASEAN各国の若者にとって、非常に特別なものだと感じています。このプログラムを通じて、自国の発展を目指す参加者が、国境や宗教を超え、平等に意見交換をすることができるからです。そして、参加者全員が、新しいアイデアや、日本とASEAN諸国の様々な問題の解決法について考えることができるプログラムでした。

◆ 参加大学生

このプログラムは、特に日本文化や日本の生活について学びたいと思っている参加者にとって、情報量が充実し、大変ためになるものでした。オンラインでのプログラムということで、感染症拡大を防止しながら実施することができました。

◆ **参加大学生**

日本について学ぶことができる良いプログラムでした。参加者全員にとって非常にためになるものなので、これからも実施してほしいです。

◆ **参加大学生**

このパンデミックの時代にオンラインは非常に便利ですが、対面プログラムにぜひ参加したいです。

◆ **参加大学生**

このプログラムに参加できて本当に嬉しいです。このプログラムでは、日本の生活様式、技術、言語、文化など、日本の完璧な文化をより多く学ぶことができます。今後、日本と東ティモールが最高の交流をするために、両国の参加者が対面で会う機会を作ってほしいです。東ティモールはインターネット環境が整っていないため、オンラインプログラムへの参加が難しいと思います。

◆ **参加社会人**

対面での実施ができれば、より深く日本を知ることができると思います。


4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ **講師**

講義後の質問がたくさん出て、嬉しい限りです。新型コロナウイルス感染症の日本の現状や政府の対応、高齢化に対する政府の支援策といった現在進行形の質問が多かったのには驚かされ、東ティモールの若者たちの現代社会に対する諸課題への関心の高さに感銘しました。次回は、日本の若者（学生）と一緒に、同様の課題について話すような企画ができればいいと思いました。

5. 参加者の対外発信

<p>Arigato Gozaimashita/Obrigado Barak to JICE's International Exchange Programs for this occasion to share Information about Japan and let us explore a little about Japan. It's a privilege to participate in this program, that percieve us about Japanese language, politic, society, place and culture. Once again Thankyou very much</p> <p>#JENESYS_ASEAN</p>  	<p>Japan is the country with a very unique and wonderful culture and technology updates. And by having the chance to participate in JENESYS Online program is such a great opportunity for me to get to know more about japan, in terms of their infrastructure, education and lifestyle. Thank you very much for the lecture and the experience you shared with us.</p> <p>JICE's International Exchange Programs #JENESYS_ASEAN</p> 
<p>2021年11月22日 (Facebook)</p> <p>JICE 国際交流プログラムの皆様、日本についての情報を共有や、日本について体験することのできる機会をありがとうございました。日本の言語、政治、社会、観光地や文化について学ぶことのできる今回のプログラムに参加できたことは光栄です。ありがとうございました。</p>	<p>2021年11月22日 (Facebook)</p> <p>日本はユニークで素晴らしい文化や最新のテクノロジーがある国です。JENESYS オンラインプログラムに参加できたことは私にとっても日本国内の設備、教育や生活について学ぶことのできる素晴らしい経験でした。貴重な体験と講義をありがとうございました。</p>

<p>Day 2</p> <p>Today, jenesys presented a online tour in some cities and places, one of the city is Osaka. Osaka is a large port city and commercial center on the Japanese island. It's known for its modern architecture, nightlife and hearty street food... もっと見る</p> 	<p>The places in Kansai are: Nara where there is have alot of deers and no one allows to hurt them. Kyoto city is the city where we can learn about Japanese culture and taste their traditional foods. Hyogo and wakayama are spiritual sides where we can learn about the historical of Japan.</p> <p>Besides that there are 53 thousand of international student in Kansai and 24 thousand in Osaka.</p> <p>One more thing : the symbol Victory of Japan is daruma.</p> <p>#Jenesys_sns</p>
--	---

<p>2022年2月10日 (Facebook)</p> <p>今日は JENESYS で幾つかの街や場所のオンラインツアーがありました。大阪は日本有数の港町であり、商業の中心地でもあります。モダンな建築物やナイトライフ、ボリュームたっぷりの屋台料理で知られています。その中でも、天神橋筋6丁目商店街は、観光客にとって魅力的な場所のひとつです。天神橋を起点に、北は天神橋7丁目まで続く全長2.6kmの商店街は、日本一長いといわれ、歩くと約40分かかるといわれています。もし買い物に行きたいなら天神橋商店街に行くべきです。</p>	<p>2022年2月11日 (Facebook)</p> <p>関西についての発信 関西地域： 奈良には鹿が沢山いて、ケガさせるようなことはしてはいけません。 京都は日本文化を学び、伝統的な日本食を楽しめる都市です。 兵庫と和歌山は、精神的な側面を持ち、日本の歴史を学べるところです。 他には、関西には留学生が5万3,000人、大阪には2万4,000人います。 もう1つ；日本で勝利のシンボルは「ダルマ」です。</p>
--	---

	
---	--

<p>2022年2月12日 (Instagram)</p> <p>(講師スタッフの投稿)</p> <p>先日、ものすごく素敵な講座にスタッフとして参加させて頂きました。 (中略)</p> <p>毎年諸外国から日本の魅力を知ってもらう為、日本へ招待するイベント。 昨年度は、コロナで日本へ招待する事ができず、オンラインで日本の魅力を知ってもらう事になりました。今回は、マレーシア・シンガポール・東ティモールの皆様にオンラインでご参加いただき、</p>
--

講師はなんと、TOKYO インフルエンサーアカデミー代表の中島侑子さん。内容は、「SNS 講座」旅系インフルエンサーであり、インスタグラムの先生でもある中島侑子さんは、まさにベストティーチャーです。日本の魅力と沢山の場所の魅力や文化、季節やお祭りの事などお話しいただきながら、その魅力を発信していく Instagram についてノウハウも含めて講義頂きました。

チャットでのやり取りは非常に面白く、

- ・日本のどこに行きたい
- ・何を食べたい
- ・日本についてどんな発信ができるか

など、やり取りがされていて海外学生の皆様もとても楽しそうでした。

日本が好きな気持ち、日本に行きたいという気持ちが伝わってきて日本人として海外との交流はとても嬉しい気持ちで一杯になりました。今は、簡単に海外へ行く事ができない。

もどかしい気持ちでいっぱいですが、だからこそ、リアルで旅行に行きたい、色々な国に行きたいという気持ちが募るので、海外旅行が普通に出来る時がおとずれることが楽しみでなりません。

それはきっと世界中の人達が同じように想っている事と思います。

今回は、学生さん達が講座を受けて、日本について発信をご自身なりにする！という企画になっています。#jenesys_sns をつけて発信していただき、ベスト投稿を侑子さんに選んで頂きます。

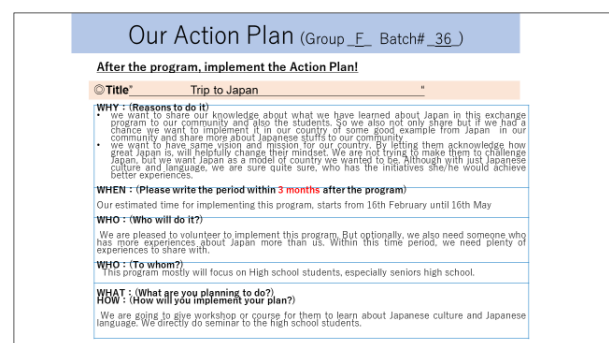
行ったことない場所の事ってなかなか伝えづらいけど、学んだ事や、行きたいなあという想いを投稿するというのも、アウトプットとして良いですね。

あらためて日本の魅力を感じる時間でした。

そして、世界中の方々が気軽に海外旅行に行ける日がきますように。

6. 最終報告会でのアクション・プランの発表

グループ 1



「日本への旅」

- 実施時期：2月16日～5月16日
- 実施する者：本プログラム参加者。自分たちよりも日本を知っている人からも協力を得ます。
- ターゲット：東ティモールの高校生
- 実施内容：日本文化や日本語を学ぶワークショップを開催します。また、高校生にも直接セミナーを実施します。

グループ 2

「オンラインプログラムで日本について
学んだことを、東ティモールで広めよう！」

■ 実施理由：

東ティモールにはまだ日本のことをよく知らない人が沢山いるので、このプランの実行で日本への理解を深めたいです

■ 実施時期：3月3日（東ティモールの祝日）

■ 実施する者：グループGのメンバー

■ ターゲット：東ティモールの高校生、高卒者、
大学生（16歳以上の誰でも可）

■ 活動方法：

今回のようなオンラインプログラム、または直接対面でのプログラム、また Facebook のような SNS でシェアして、参加者に certificate を発行したりもできると思います。

Our Action Plan (Group G_ Batch# 32_)
After the program, implement the Action Plan!
◎ Title "Spread what we learnt in the webinar about Japan in Timor!"
WHY : (Reasons to do it) Spread our knowledge about Japan after the JENESYS program because there are many people who do not know about Japan very much. And with this we will deepen peoples' knowledge about Japan.
WHEN : (Please write the period within 3 months after the program) March 3rd 2022, National Holiday in Timor
WHO : (Who will do it?) Group G
WHO : (To whom?) Anyone from age 16+. Our target: High school students, High School graduated, University students etc.
WHAT : (What are you planning to do?) HOW : (How will you implement your plan?) We should do like this, on line webinar, since no need to book the place and people who are busy can participate also organize information session or seminar about what we learn face to face. Even we can use SNS such as facebook, by workshop or we share what we learn and we could provide certificate to whom will be participate in our seminar or workshop.

実施団体名：一般財団法人日本国際協力センター (JICE)